

サイコウの天気と紅葉に会えた ～槍ヶ岳から天狗池へ～

H29.9.30～10.1

メンバー：神谷（元会員）、設楽（記）

行程：浜松（19：30）～沢渡（23：46）〔仮眠〕

（初日）上高地（6時）～横尾山荘（7：45）～槍沢ロッジ（9：50）～
槍ヶ岳山荘（14：20）ひるね～槍ヶ岳登頂（16：40）～槍ヶ岳山荘〔泊〕
（2日目）槍ヶ岳山荘（6：20）～大喰岳～中岳（7時）～南岳～天狗池（9
時）～槍沢ロッジ（10：50）～河童橋（14：20）～上高地パ
スターミナル～浜松



天狗池に写る逆さ槍

神谷さん撮影

今山行、不安な要素が二つあった。一つは、同行者・神谷さんの歩行レポについていけるか（→そもそもついていけない）。もうひとつは、上高地から一気に槍ヶ岳山荘まで15時頃までにたどり着けるかという、この二点。しかし槍に行きたい一心で計画に乗った私。今回は小屋泊なので、荷物の軽さに期待です。

浜松を19時半に出発。

0時前に沢渡に到着し、足湯公園駐車場に車を止めたはいいものの・・・

1泊2日の駐車料金、0時以降に駐車すれば1200円で済んだのに、帰りに無

情な 1800 円の金額表示。。さっそく次回の教訓。

3時半に起床し、歩いて沢渡バスターミナルに向かうとすでにそこには行列が。けっきょく 1 時間並び、上高地行きのバスに乗車。6時半頃、歩き出す。

歩き出しが思ったよりも遅くなってしまったので、時間を稼げそうな槍沢ロッジまでの起伏の少ない道を飛ばし気味で歩く。

横尾山荘までは、大勢の人がいたが涸沢に人が流れたようで、一気に人気が減る。



割と続いていた平坦な道が終わり、水俣乗越分岐から傾斜がきつくなり始めると、私のペースががくっと落ちる。神谷さんは相変わらず快調。

カールで現れた素晴らしい紅葉に励まされ、進む。



赤・黄色に紅葉。そしてこの青空！風が冷たくて合羽を着るも汗冷えしてしまった。



ついに視界に大きく捉え始めた、槍を目の前にテンションアップ！

でも槍ヶ岳山荘へのつづら折りの道も私はバテ気味。

14:20 思ったよりも早く槍ヶ岳山荘に到着することができたが、入室すると我々を猛烈な眠気が襲う。

高山病が気になりつつも二人とも布団に入って、入眠。

16 時過ぎに目覚め、てっきりこの日の槍登頂はお預けかと思いきや、神谷さんは行く気満々。

しかしそんな神谷さんをまさかの足つりが襲う！かなり痛そうだ。

ここで神谷さんが何かを思い出した。犬山さんが槍に来了時、やはり足がつってポカリを一気飲みしたら治ったという記録だ。

さっそくポカリのお使いに行き、500円という金額に一瞬戸惑うが、神谷さんの辛そうな表情を思い出し、購入。

ポカリの一気飲みが効いたのか、混雑を終えた槍へ早いスピードで登りだす神谷さん。

ま、待ってくれ・・・酸素がうまく吸えず苦しむ私。。



そして登頂！人の少ない頂上からは 360 度のパノラマが広がる。



頂上から見た槍のシルエットは、きれいな三角形でした。
渋滞を避ける結果になった、お昼寝は正解♪頂上でゆっくり。



槍から降りて写真撮影していたら、見事に槍が染まってきました。
これはきれいだ！周りも写真撮影で賑やか。



翌日はゆっくりめの5時起床。
この日も快晴に恵まれ、気温は昨日よりも高め。しかし大喰岳への登りも私は息があがってしまい、呼吸が苦しい。



7:02
中岳から
槍を見る。



南岳を下り始め天狗原にきたら、真っ赤な紅葉が現れ始める。
槍と絵になる紅葉に歓声！
今日の見どころは天狗池だけど、そこまでの紅葉も素晴らしい！
天狗池では、たくさんの人が撮影大会。水面が鎮まるタイミングを待っている。
見事な鏡にゆっくり見惚れる。



天狗池とお別れし、水俣乗越分岐まで戻る途中も、槍が目の前の贅沢な景色が続く。



素晴らしい景色に後ろ髪をひかれつつ、槍とお別れします。

帰りの下り道も飛ばし気味。

そしたらなんと徳沢ロッジのベンチで休憩後、立ち上がると両足に早くも筋肉痛？痛い。特に歩き出しが痛くて、二人で急にペースが落ち弱弱しく歩き出す。

ちょっと歩き出すと筋肉がほぐれて？さっきまでのように再びペースアップ。

河童橋の階段に腰かけてご褒美のジェラートを食べた後、また立ち上がると痛みが両足に走る。こんな風になったのは初めてかも。。（翌日は回復）

車を止めた足湯駐車場の足湯は最高に気持ちよかった。

この夏はあまり天気にも恵まれなかった山行が続いたので、今回の天気と紅葉は嬉しさも一入りでした♪